



趣旨説明とシステムの概要

大阪大学サイバーメディアセンター
応用情報システム研究部門 伊達 進

スーパーコンピュータ利用説明会(初めてスパコンのご利用を検討される方)



利用説明会の位置付け

初めて大阪大学サイバーメディアセンター(CMC)のスーパーコンピュータの利用を検討されている方向けに、産業利用制度、(学術機関向け)一般利用制度について紹介・説明

本日の利用説明会の趣旨

CMCの役割、ミッションを理解していただき、スーパーコンピュータのご利用をご検討いただくきっかけとしていただけることを願っています

利用説明会での達成目標

- CMC
 - 大阪大学CMCとはどのような組織か（なぜスーパーコンピュータによる計算サービスを提供しているのか）を理解する
 - 大阪大学CMCのスーパーコンピュータ概要について理解する。
 - スーパーコンピュータの利用資格と利用負担金についてを理解する。
 - スーパーコンピュータの利用種別についてを理解する。
- 利用申請と利用者支援
 - 大阪大学CMCでスーパーコンピュータを利用するための利用申請方法について理解する。
 - 大阪大学CMCが提供する利用者支援の概要について理解する。
- 利用方法
 - スーパーコンピュータの利用方法(ログイン、ジョブ投入・実行、ジョブ確認の基本)を理解する。

スーパーコンピュータ利用説明会(初心者向け)

2024.05.27

本日のプログラム



13:30-13:50 趣旨説明とシステムの概要



サイバーメディアセンター応用情報システム研究部門
伊達 進

13:50-14:10 利用申請と利用者支援

サイバーメディアセンター応用情報システム研究部門
山下 晃弘

14:10-15:10 スパコンの使い方

情報推進部 情報基盤課
技術職員

15:10-15:30 個別相談会 （事前申し込みいただいた方）

大阪大学サイバーメディアセンター



吹田CMC 本館



ITコア棟

- 大阪大学の計算機センター
- 役割とミッション
 - 大阪大学の研究・教育を支える情報基盤の整備・運用を担うとともに、大規模計算、情報通信、および、ICT技術を活用した教育に関する最先端の研究開発を推進。
 - 学内だけでなく学外の教育・研究組織や産業界と密接に連携したセンターとして機能することが求められた全国共同利用施設でもあり、その一環として、全国の大学の研究者が学術研究・教育に伴う計算及び情報処理を行うことができるよう、種々の高性能な大規模計算機システム(スーパーコンピュータ)を提供。

企業の方もお使いになれます！

POINT



2007年度より文部科学省の「先端研究施設共用イノベーション創出事業」（2009年度から「先端共用施設共用促進事業」として2010年度まで実施。）の支援を受け、大規模計算機システムの利用を民間企業等へ開放してきました。2011年度からは社会貢献の一環として、有償で大規模計算機システムを産業利用に開放しています。

スーパーコンピ

大阪大学CMCの大規模計算機システム事業（スパコン事業）



<http://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/>

CMCのスーパーコンピュータをご利用できる環境を整備するとともに、利用者の皆様がスーパーコンピュータを利活用できるよう支援しています。

• 体制

応用情報システム研究部門、情報推進部情報基盤課スパコン班の教職員が中心となり、CMC教職員が連携しつつ、スパコン事業を推進しています。



CALL FOR
SUPERCOMPUTER **USERS**

スーパーコンピュータ利用説明会(初心者向け)
2024.05.27

CMCの提供するスーパーコンピューティング環境



1 全国の研究者が
利用可能

2 多様な計算
ニーズへの対応

3 ペタフロップス級
大規模計算能力

4 安定した
動作環境の提供

• フロントエンドノード（ログインノード）

• スーパーコンピュータ

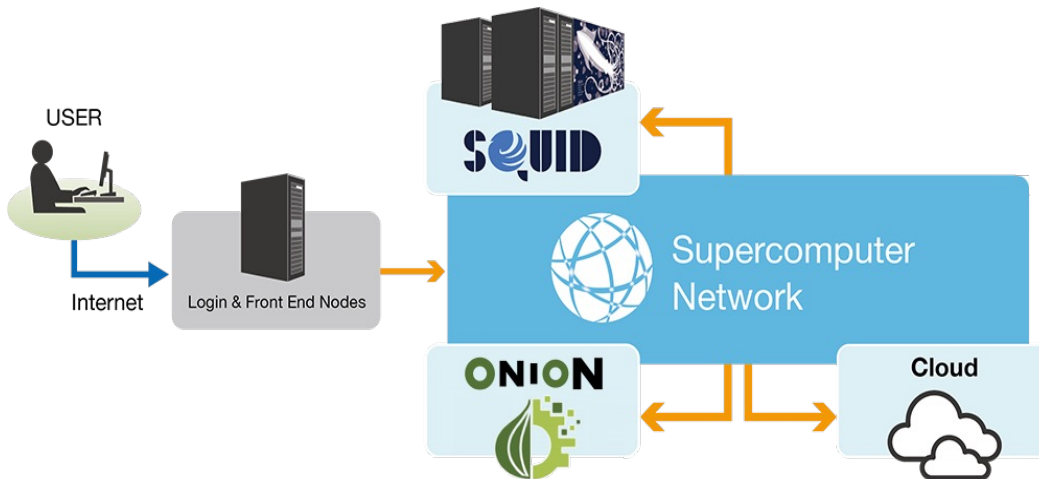
- SQUID (Supercomputer for Quest to Unsolved Interdisciplinary Datascience)
- OCTOPUS後継機（調達中）

• データ集約基盤 ONION

- オブジェクトストレージ HyperStore (0.5 PB)
- SQUID 並列ファイルシステム ExaScaler (21PB)

• クラウドバースティング資源

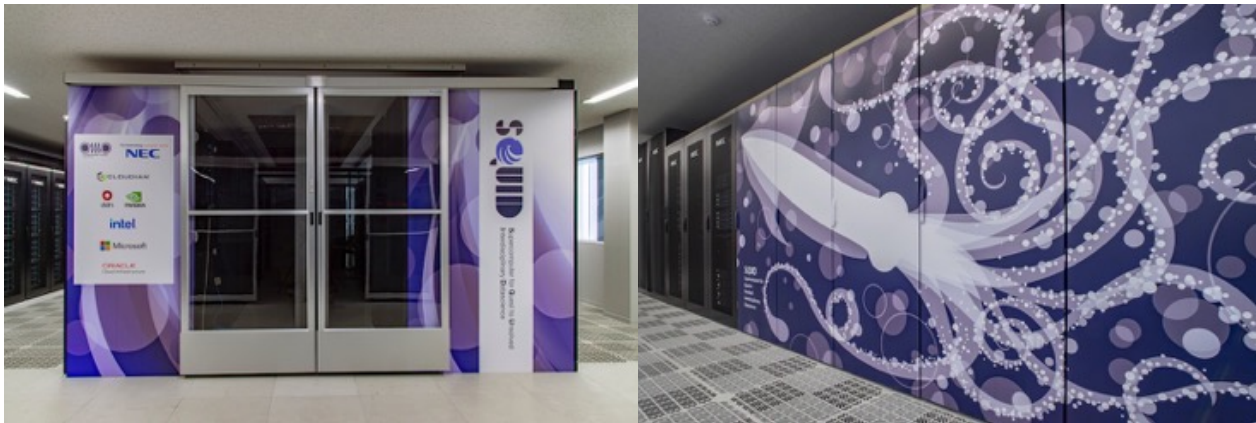
- Microsoft Azure
- Oracle Cloud Infrastructure



SQUID since May 2021



- クラウド連動型高性能計算・高性能データ分析用スーパーコンピュータ
(Supercomputer for Quest to Unsolved interdisciplinary Datascience)
 - 総理論演算性能 16.591 PFlops



最新 3 種混合プロセッサ・アクセラレータ搭載！

POINT



SQUIDは、2021 年 4 月に発表されたばかりの Ice Lake 世代のプロセッサをはじめ、最新 GPU アクセラレータ NVIDIA HGX A100 8 GPU ボード、最新ベクトルプロセッサ NEC SX-Aurora TSUBASA Type 20A を搭載しています。汎用 CPU ノード群は、Ice Lake 世代のプロセッサを搭載する国際最大級となります。

スーパーコンピュータ利用説明会(初心者向け)
2024.05.27



SQUID システム構成

汎用 CPU ノード群

1,520 ノード x 理論演算性能 5,837 TFLOPS **8.871 PFLOPS**

プロセッサ Intel Xeon Platinum 8368 (Ice Lake / 2.40 GHz 38コア) 2基

主記憶容量 256 GB

GPU ノード群

42 ノード x 理論演算性能 161.836 TFLOPS **6.797 PFLOPS**

プロセッサ Intel Xeon Platinum 8368 (Ice Lake / 2.40 GHz 38 コア) 2基

主記憶容量 512 GB

GPU NVIDIA HGX A100 8 GPU ボード (Delta)

ベクトルノード群

36 ノード x 理論演算性能 25.611 TFLOPS **0.922 PFLOPS**

プロセッサ AMD EPYC 7402P (2.8 GHz 24コア) 1基

主記憶容量 128 GB

Vector Engine NEC SX-Aurora TSUBASA Type 20A 8基

ノード間接続

ノード間接続 Mellanox InfiniBand HDR (200 Gbps)

データ集約基盤 ONION

S3 対応並列ファイルシステム **21.2 PB**

ファイルシステム DDN EXAScaler (Lustre)

HDD 20.0 PB

SSD 1.2 PB

S3 対応オブジェクトストレージ **500 TB**

オブジェクトストレージ CLOUDIAN HyperStore

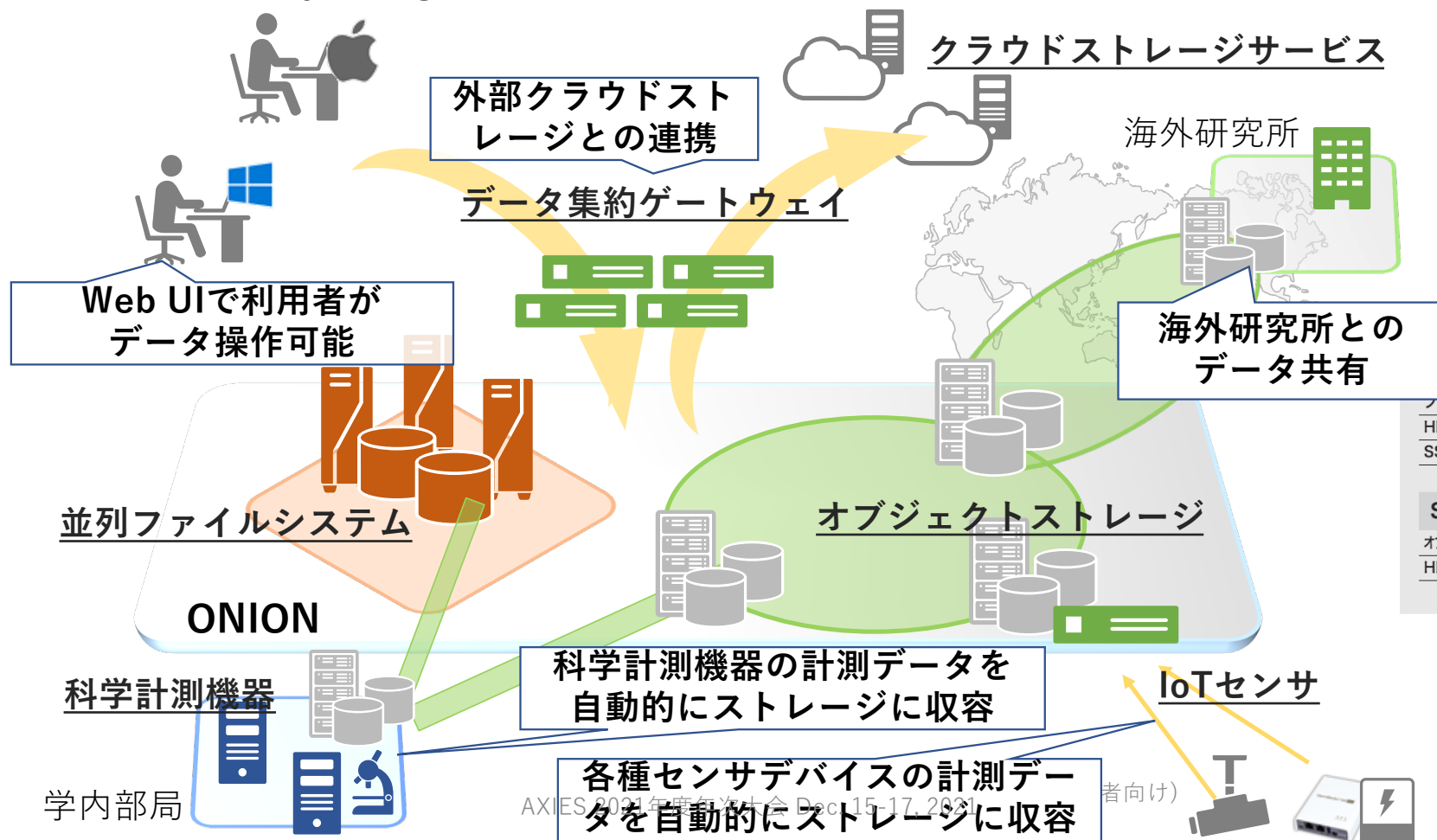
HDD 500 TB

ONION since 2021



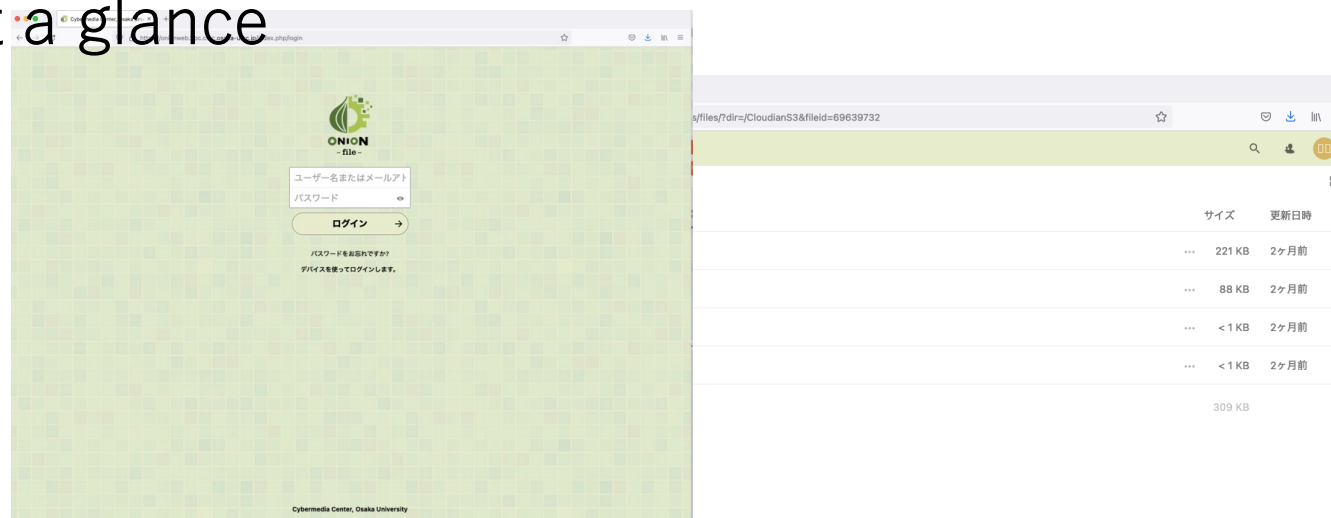
データ集約基盤

(Osaka university Next-generation Infrastructure for Open research and open innovationN)



S3 対応並列ファイルシステム		21.2 PB
ファイルシステム	DDN EXAScaler (Lustre)	
HDD	20.0 PB	
SSD	1.2 PB	
S3 対応オブジェクトストレージ		950 TB
オブジェクトストレージ	CLOUDIAN HyperStore	
HDD	950 TB	

ONION at a glance



DDN EXAScaler

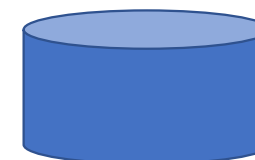


Clouidian HyperStore Appliance 1610



スーパーコンピュータ利用説明会(初心者向け)
2024.05.27

研究室 webdav



研究所 S3

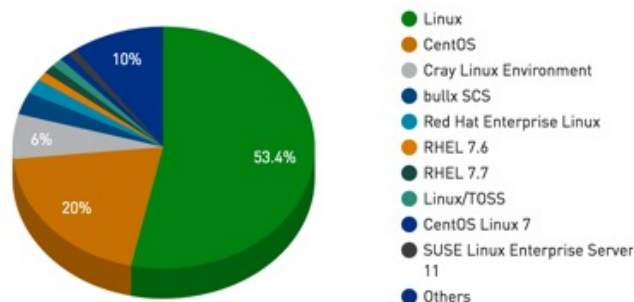


科学計測機器

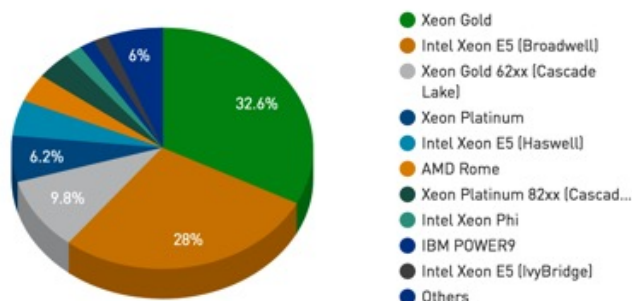
パソコンとスーパーコンピュータの違い（１）

	PC	Supercomputer
オペレーティングシステム	Windows, Mac, Linux, FreeBSD等	主としてLinux系OS
プロセッサ	Intel, AMD, ARM (コンシューマー向け)	Intel, AMD, ARM (サーバー向け)
ネットワーク	Ethernet(1Gbps) Wi-Fi (IEEE 802.11ax)	InfiniBand EDR/HDR (100/200Gbps) Omni-Path (100Gbps), Ethernet (10/25/40Gbps)
ノード	1 ノード	数十ノード～
利用方法	シングルユーザがインタラクティブ処理	マルチユーザがバッチ処理

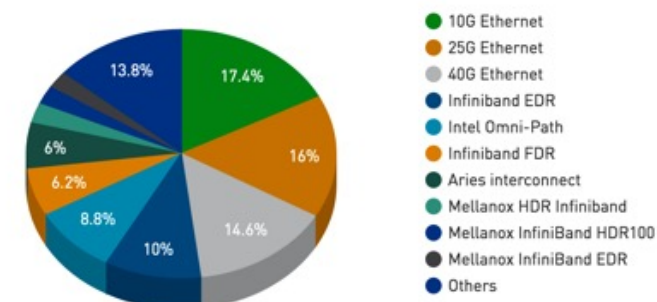
Operating System System Share



Processor Generation System Share



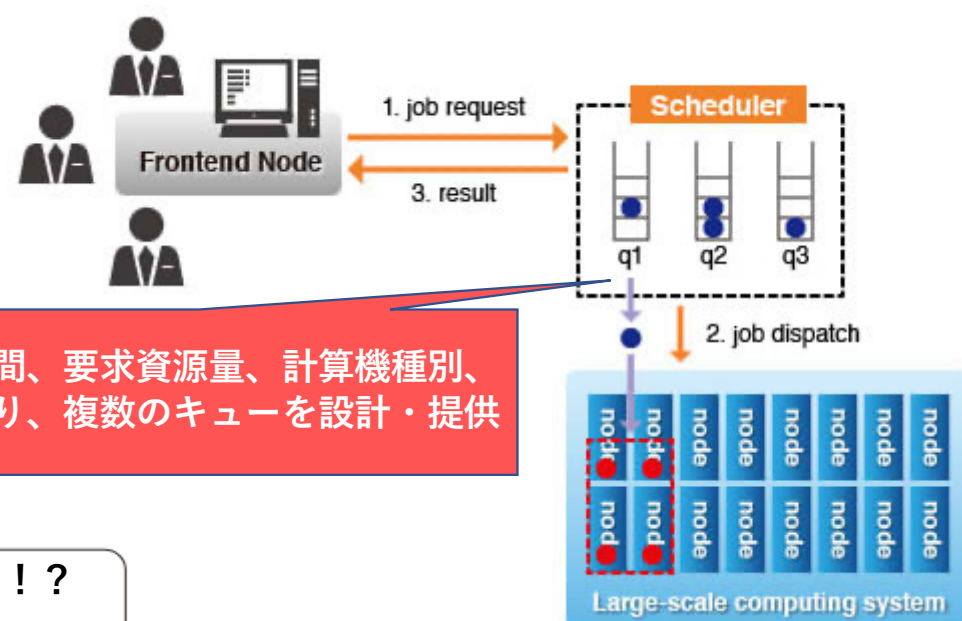
Interconnect System Share



パソコンとスーパーコンピュータの違い（２）

• スケジューラ

- a.k.aジョブ管理システム、キューイングシステム
- スーパーコンピュータを多数の利用者で使うための資源管理の仕組み。
- スーパーコンピュータ全体のジョブスループット(単位時間あたりの仕事量)を向上させる仕組み。



スケジューラが分かれば、スパコンもわかる！？

POINT



複数の利用者が共用する大学や研究機関のスーパーコンピュータでは、スケジューラが導入されています。スケジューラは、スーパーコンピュータのプロセッサやアクセラレータ等の空き資源の空き状況を監視し、利用者からのジョブ要求を受け付け、投入されたジョブを実行するための計算資源をジョブ要求に割り当てます。スケジューラへのジョブ要求の方法を理解することが、スパコンを使いこなすことへの第一歩となります。

スケジューラへのジョブ要求

1. ジョブスクリプト (job script) の作成例

```
1 #!/bin/bash
2 #----- qsub option -----
3 #PBS -q SQUID          #バッチリクエストを投入するキュー名の指定
4 #PBS --group=G01234     #所属するグループ名
5 #PBS -m b              #バッチリクエスト実行開始時にメールを送信
6 #PBS -l cpunum_job=76   #使用するCPUコア数の要求値
7 #PBS -l elapstim_req=01:00:00 #ジョブの最大実行時間の要求値 1時間の例
8 #----- Program execution -----
9 module load BaseCPU/2021 #ベース環境をロードします
10 cd $PBS_O_WORKDIR        #qsub実行時のカレントディレクトリへ移動
11 ./a.out > result.txt     #プログラムの実行
```

2. スケジューラへのジョブ要求

スケジューラへのジョブ要求

スケジューラへのジョブ要求は、スケジューラが提供するコマンドqsubを用いて下記のように行います。

```
% qsub [スクリプトファイル名]
```

投入したジョブの状況を確認するには、qstatコマンドを用いて下記のように行います。

```
% qstat
```


研究成果

- 研究成果の紹介
 - 研究成果一覧
 - <http://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/researchlist/>
 - HPSC (High Performance Scientific Computing News)
 - <http://www.hpc.cmc.osaka-u.ac.jp/hpsc-news/>



スーパーコンピュータ利用説明会(初心者向け)
2024.05.27

産学共創へ向けて

- 大阪大学サイバーメディアセンターは、学術と産業の共創の場

